

一般質問

発言者 岡田まなみ

発言の要旨(その1)
1 戦後80年——戦争のない平和な世界を
(1) 強制集団死など悲惨極まる沖縄戦の歴史から、命どう宝の持つ言葉の意味を、どのように考えるのか。
(2) 高松第一高等学校や市立中学校の歴史の授業で、沖縄戦についてどのように教えているのか。
(3) 国際法上のルールから、高松港や高松空港も軍事利用されることで、有事となれば市民が戦争に巻き込まれる危険性があるため、高松港の特定利用港湾の指定の撤回と、高松空港の特定利用空港の指定を受け入れないよう、県に働きかけるべきと考えるがどうか。
(4) 平和憲法を持つ日本として、軍事対軍事ではなく、平和外交を積極的に推進するよう政府に求める考え
(5) 戦後80年、日本国憲法を守り生かすために、平和行政のさらなる推進の考え
2 国民健康保険について
(1) モデル世帯——40歳以上夫婦・子供2人・所得200万円で住民税均等割5,000円のみで、年間の国保料が約40万円は高すぎると考えるがどうか。
(2) 国保法第44条の医療費の一部負担金減額・免除を、市民に広く周知する考え
(3) 納付相談は、市民の生活実態に寄り添った丁寧な対応を心がけるとともに、職員的能力向上のための研修なども求められるのではないか。
(4) 子供の権利・少子化対策として、18歳以下の子供の国保料は免除すべきと考えるがどうか。
(5) 国保法第77条の保険料の減免制度を市民に周知するとともに、もっと利用しやすい制度に変える考え
(6) 国保加入者の命と健康を守るため、公費の投入を大幅に増額し、また市の一般会計からも国保会計へ大幅に繰入れをして、国保料を引き下げるべきと考えるがどうか。

発言の要旨(その2)

3 都市公園のトイレ洋式化について

公園利用者の利便性を向上するため、都市公園のトイレ洋式化やバリアフリートイレ設置を、急ぎ具体化すべきであると考えているがどうか。

4 スケートボード施設の整備について

青少年のために、身近で安全なスケートボード施設を整備する考え

5 競輪事業について

(1) 委託料の支出の根拠が実に曖昧であることから、昨年度の委託料の見込額約9.9億円と、23年度の委託料との差額5.4億円を、チャリ・ロトから市へ返還させるべきと考えるがどうか。

(2) 委託料と報奨金ともに支払いの根拠が曖昧であり、業務に対する対価以上の金額がチャリ・ロトに支払われる契約内容だと考えるがどうか。

(3) 再整備事業費の債務負担行為を81億円ではなく、75億円と過少に設定したのはなぜか。

(4) コストの縮減どころか大幅なコスト増である上に、この間の建設費の高騰から再整備事業費の増額が想定されるがどうか。

(5) せめて太陽光発電設備を設置して、地球温暖化対策に貢献すべきではないか。

(6) 車券発売収入の中長期見通しを立てることが困難であり、全てがチャリ・ロトに有利なお金の流れがあり、ギャンブル依存症の問題も依然深刻であることから、競輪事業を廃止も含めて根本から考え直すときではないか。